

令和6年12月定例会の審議結果

賛成・・・○ 反対・・・×

区分	議案番号	案 件 名	議案の説明	委員会の状況			採決																			議決年月日	議決結果																		
				補正前 (千円)	補正額 (千円)	当初・補正後 (千円)	審査する 委員会名	委員会の 審査結果	討論 の有無	新生					公明党				未来ネット			共産党		開政				無所属																	
										西尾 彰仁	中山 明保	加藤 茂樹	吉野 恭介	星見 健蔵	魚崎 勇	西村 紳一郎	岡田 信俊	寺坂 寛夫	砂田 典男	上杉 栄一	水口 誠	谷口 明子	浅野 博文	石田 憲太郎	平野 真理子			勝田 鮮二	米村 京子	秋山 智博	長坂 則翁	金田 靖典	岩永 安子	伊藤 幾子	加嶋 辰史	吉田 博幸	柳 大地	岡田 実	坂根 政代	雲坂 衛	足立 考史	太田 縁			
<市長提出議案>																																													
予 算 (14件)	134	令和6年度鳥取市一般会計補正予算(第6号)	令和6年度補正予算	110,043,245	1,030,216	111,073,461	総務企画委員会 福祉保健委員会 文教経済委員会 建設水道委員会	原案可決 (賛成多数)	有	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	令和6年12月20日	原案可決 (賛成多数)
	135	令和6年度鳥取市公設地方卸売市場事業費特別会計補正予算(第1号)	令和6年度補正予算	39,280	1,138	40,418	文教経済委員会	原案可決 (全会一致)	無	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	令和6年12月20日	原案可決 (全会一致)	
	136	令和6年度鳥取市国民健康保険費特別会計補正予算(第2号)	令和6年度補正予算	17,901,249	364	17,901,613	福祉保健委員会	原案可決 (全会一致)	無	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	令和6年12月20日	原案可決 (全会一致)	
	137	令和6年度鳥取市土地取得費特別会計補正予算(第1号)	令和6年度補正予算	67	491	558	総務企画委員会	原案可決 (全会一致)	無	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	令和6年12月20日	原案可決 (全会一致)	
	138	令和6年度鳥取市墓苑事業費特別会計補正予算(第1号)	令和6年度補正予算	29,732	5,121	34,853	総務企画委員会	原案可決 (全会一致)	無	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	令和6年12月20日	原案可決 (全会一致)	
	139	令和6年度鳥取市介護保険費特別会計補正予算(第3号)	令和6年度補正予算	20,245,307	▲17,806	20,227,501	福祉保健委員会	原案可決 (全会一致)	無	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	令和6年12月20日	原案可決 (全会一致)	
	140	令和6年度鳥取市財産区管理事業費特別会計補正予算(第2号)	令和6年度補正予算	12,503	10	12,513	総務企画委員会	原案可決 (全会一致)	無	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	令和6年12月20日	原案可決 (全会一致)	
	141	令和6年度鳥取市温泉事業費特別会計補正予算(第2号)	令和6年度補正予算	45,631	5,641	51,272	文教経済委員会	原案可決 (全会一致)	無	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	令和6年12月20日	原案可決 (全会一致)	
	142	令和6年度鳥取市後期高齢者医療費特別会計補正予算(第1号)	令和6年度補正予算	3,032,471	▲137	3,032,334	福祉保健委員会	原案可決 (全会一致)	無	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	令和6年12月20日	原案可決 (全会一致)	
	143	令和6年度鳥取市電気事業費特別会計補正予算(第1号)	令和6年度補正予算	38,426	15	38,441	総務企画委員会	原案可決 (全会一致)	無	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	令和6年12月20日	原案可決 (全会一致)	
	144	令和6年度鳥取市水道事業会計補正予算(第1号)	令和6年度補正予算	9,185,293	▲15,145	9,170,148	建設水道委員会	原案可決 (全会一致)	無	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	令和6年12月20日	原案可決 (全会一致)	
	145	令和6年度鳥取市下水道等事業会計補正予算(第1号)	令和6年度補正予算	16,595,515	▲4,969	16,590,546	建設水道委員会	原案可決 (全会一致)	無	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	令和6年12月20日	原案可決 (全会一致)	
	146	令和6年度鳥取市病院事業会計補正予算(第1号)	令和6年度補正予算	10,177,011	▲136,338	10,040,673	福祉保健委員会	原案可決 (全会一致)	無	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	令和6年12月20日	原案可決 (全会一致)	
	166	令和6年度鳥取市一般会計補正予算(第7号)	令和6年度補正予算	111,073,461	155,682	111,229,143	総務企画委員会 文教経済委員会 建設水道委員会	原案可決 (全会一致)	無	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	令和6年12月20日	原案可決 (全会一致)
条 例 (5件)	147	鳥取市公設地方卸売市場事業基金条例の制定について	地方自治法第241条第1項の規定に基づき、鳥取市公設地方卸売市場再整備事業に係る起債償還を適切に行うため、基金を設置するもの	文教経済委員会	原案可決 (全会一致)	無	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	令和6年12月20日	原案可決 (全会一致)			
	148	督促手数料の廃止に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	事務効率化及び納付利便性の向上を図るため、市税及び各種料金の督促状に係る督促手数料を廃止することに伴い、関係条例の改正を行うもの	総務企画委員会	原案可決 (全会一致)	無	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	令和6年12月20日	原案可決 (全会一致)			
	149	鳥取市職員退職手当支給条例の一部改正について	雇用保険法改正に伴い、関係条例について所要の改正を行うもの	総務企画委員会	原案可決 (全会一致)	無	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	令和6年12月20日	原案可決 (全会一致)			
	150	鳥取市地域活性化施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	鳥取市地域活性化施設のうち、鳥取市佐治町古市集会所を廃止するもの(施設廃止後、建物は地元へ譲渡し、集落所有の集会所施設として活用予定)	文教経済委員会	原案可決 (全会一致)	無	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	令和6年12月20日	原案可決 (全会一致)		
	151	鳥取市恩給条例等の廃止について	恩給を受給する権利を有する者がいなくなったことに伴い、関係条例の廃止を行うもの	総務企画委員会	原案可決 (全会一致)	無	○	○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	令和6年12月20日	原案可決 (全会一致)		

令和6年12月定例会の審議結果

賛成・・・○ 反対・・・×

区分	議案番号	案 件 名	委員会の状況		本会議での結果																				議決年月日	議決結果																	
			審査する 委員会名	委員会の 審査結果	討 論 の 有 無	採決																																					
						新生					公明党					未来ネット			共産党		開政		無所属																				
						西尾 彰仁	中山 明保	加藤 茂樹	吉野 恭介	星見 健蔵	魚崎 勇	西村 紳一 郎	岡田 信俊	寺坂 寛夫	砂田 典男	上杉 栄一	水口 誠	谷口 明子	浅野 博文	石田 憲太 郎	平野 真理 子	勝田 鮮二	米村 京子	秋山 智博			長坂 則翁	金田 靖典	岩永 安子	伊藤 幾子	加嶋 辰史	吉田 博幸	柳大 地	岡田 実	坂根 政代	雲坂 衛	足立 考史	太田 緑					
<議員提出議案>																																											
その他 (1件)	10	鳥取市議会の議員の長期欠席等に係る議員報酬等の特例に関する条例の制定について	(委員会付託省略)	無	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	令和6年12月20日	原案可決 (全会一致)
意見書 (1件)	11	パーティー券購入を含む企業・団体献金の全面禁止を求める意見書の提出について	(委員会付託省略)	有	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	令和6年12月20日	否決 (賛成少数)		
<委員会提出議案>																																											
意見書 (1件)	4	小・中学校の給食の無償化を国の責任で実施するよう求める意見書の提出について	(委員会付託省略)	無	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	令和6年12月20日	原案可決 (全会一致)

令和6年12月定例会の審議結果

受理年月日	受理番号	件名	提出者	紹介議員	委員会の状況		討論の有無	本会議での結果																									議決年月日	審査結果	理由							
					審査する委員会名	委員会の審査結果		採決					議決年月日	審査結果	理由																											
								採決																																		
								新生					公明党			未来ネット		共産党		開政		無所属																				
								西尾	中山	加藤	吉野	星見	魚崎	西村	岡田	寺坂	砂田	上杉	水口	谷口	浅野	石田	平野	勝田	米村	秋山	長坂	金田	岩永	伊藤	加嶋	吉田	柳	岡田	坂根	雲坂	足立	太田				
								彩仁	明保	茂樹	恭介	健藏	勇	紳	信俊	寛夫	典男	栄一	誠	明子	博文	憲太郎	真理子	鮮二	京子	智博	則翁	靖典	安子	幾子	辰史	博幸	大地	実	政代	衛	考史	緑				
<請願>																																										
令和6年12月2日	令和6年請願第7号	小・中学校の給食の無償化を国の責任で実施するよう求める意見書の提出を求める請願	鳥取市の学校給食を考えるみんなの会 代表 松本 絹子	柳 大地 坂根 政代 岩永 安子	文教経済委員会	採択	有	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	令和6年12月20日	採択	趣旨が妥当と認められるため						

受理年月日	受理番号	件名	提出者	委員会の状況		
				審査する委員会名	委員会の審査結果	理由
<陳情>						
令和6年11月5日	令和6年陳情第7号	臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備を求める意見書の提出を求める陳情	一般社団法人 中国における臓器移植を考える会 代表 丸山 治章	総務企画委員会	不採択	不確定要素がある陳情であるため並びに事実確認ができないため
令和6年11月15日	令和6年陳情第8号	農村整備課の事務処理について検証を求める陳情	吉田 啓次郎 ほか7名	文教経済委員会	不採択	陳情記載の問題については当事者間で話し合うべきものであり、また、念書において市の関与は認められず、議会として検証を行う必要はないと考えるため。